

第6回通学区域見直し南部ワークショップグループワークで出された意見一覧

第6回通学区域見直し南部ワークショップでは9グループに分かれて、新たな通学区域の「素案段階」と「決定後」の周知方法について話し合いをしていただきました。

その際に出された意見等について、一覧にまとめました。





意見

健診の会場に加えて、郵送時にも送付する。
素案段階で多くの人に検討していることを伝える。意見募集。
JCOM、広報ふじさわ（現役、見ていなくても、多くの年代に周知）
タウンニュースを見る機会が多いため、広い年代に周知。
当該者に伝わる方法。保護者だけでなく、祖父母にも。
就学前地図入りで周知プラスGoogleアンケート。
学区変更対象の子どもがいても、幼稚園などで話題になっていない。少しでも早く周知して欲しい。
学校→コミスク→地域への周知の流れ。
これから住む人に向けて、不動産の人にも協力依頼。
お知らせする際には地図必須。
学校配信は見られている。地図は入れるべき。
広報紙、タウンニュースは届かない人もいる。ホームページやLINEに力を入れるべき。
幼稚園、保育園で紙での配布は目には入る。
デジタルサイネージ、ポスターは誰の目にも入りやすいもの。
今回のワークショップはLINEで知った。埋もれやすいので注意。

意見	
素案が告知だけである。住んでいる人、学校に通っている人への周知、説明会を素案の段階で行って欲しい。	
現役の人（小学生を持つ親）に意見をもっと聞いた方が良い。	
学校で保護者説明会を開催（在校生及び今後入学予定の保護者）。	
在校生保護者への周知。	
在校生の変更エリア在住者にチラシ郵送。	
周囲内容が大事。時期や場所などの情報がないとわかりにくい。	
町内会館などで説明。理事会に説明して口コミでも広める。	
周知の時に〇〇町内会の方などピンポイントなお知らせにする。自分事として見てもらう。	
自治会に入っていない人にも、民生委員さんが気に掛ける。リストをもらっている。	
転入の時に学区をきちんと伝える。（住所を決めるところから）	
自治会町内会によってはそもそも新入児童が少ない。	
自治会町内会への説明会は真っ先に丁寧に。	
SNSは拡散されるためしっかりした内容で。（デマや噂、間違った内容が広まる恐れ）	
市民センターで説明会を開催。細かく自治会が分かれているところもある。	
市民向け説明会は決定後でいいのでは。	

意見
細かい説明はホームページで丁寧にする。経緯や内容。中学校向けにも、小学校入学時に伝えるなど早い方がいい。
転入時にチラシを入れる。
別刷りで入れる方が目立つ。
QRでホームページに飛んで詳しくわかるようにする。
防災のエリア分けを明確に。
町内会が基本であることを伝える。学区が違ってもお互い様の気持ちを持って。
保育園、幼稚園はアプリがあるので、電子と紙両方でのお知らせが大切。
お店へチラシを置いてもらうのは良い。
ホームページへは「子育てされる方へ」とわかるように。
各センターにもチラシを置いて欲しい。
広報ふじさわとは別に号外を作成して配布。
転入届を提出する際に周知すると良い。
令和10年度に入学する子のうち、長男・長女の世帯に幼稚園、保育園を通じてアプリや紙で、直接周知した方が良い。
市の公式のルートで情報発信すること。(フェイクニュースが多い世の中) 市民センター、広報ふじさわ



第6回ワークショップで出された意見【素案段階と決定後の周知方法】

意見

学校の先生にもしっかり伝えて欲しい。

三者連携と青少協で区割りが違うので、漏れのないようにお知らせして欲しい。

不動産屋に正しい情報を伝えてもらう。サイトなど「学校徒歩〇分」

私学も含めて、町内会で支える視点。

慣例学区の説明の仕方。①学校②町内会

タウンニュースは見る人が多い。

町内は回覧板で周知する。LINEの活用が良い。

市民向け説明会は決定後でいいのでは。

鵜洋小学校→片瀬小学校は自治会が分断されるので、金額面で事前に調整が必要になる。

医療機関は待ち時間が長いから見てもらえて効果があるだろう。

貼るだけでなく配布する。(幼稚園、保育園経由1人1枚)



意見

民生委員、児童委員からの声かけ。該当地区だけではなく全地区へ。

就学前健診での周知は必須。

スーパー、ファミレス、テラスモール、ミスターマックス、モルフィル商業施設への周知。(ファミリー層多めの場所)

とにかく対象者にもれなく届ける。

民生委員児童委員の声かけは委員さんにかかっている。

各センターなどでの子育てメッセでの周知。

決定後に嫌だと言いう人への質問、相談窓口。

中学校区変更も一緒に知らせる。

住所を入れたら学区がすぐわかるようなサイトとかがあればいい。

対象の保護者にこまめに連絡する。(学区変更に伴い転居する人がいるかも。)

すぐーるの配信を工夫する。(対象学年しか見ない通知が多い)

まずは自治会、子ども会。

そこまで数は多くないことから、個別に郵送。

学校へはアプリが良い。

保護者説明会は早めに行って欲しい。



意見

民生委員児童委員は子どもの名簿はもらっていないので、声掛けは難しい。

長男・長女がいる世帯で、令和10年度より後に下の子が入学する子がいる世帯には、きょうだい要件で同じ学校に通えることを周知すべき。

初日の通学は、みんな集まって行くなればそれを周知すべき。

変更になるエリアの通学路の周知をするべき。

在校生変更エリア在住者へのチラシ送付は、送料がもったいないので、学校から配布にした方がよい。

変更エリアに限定せず、全ての方にチラシを郵送した方がよい。(就学前健診通知に同封)

不動産屋活用。

